平成25年２月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年12月25日

上場会社名　株式会社ＣＦＳコーポレーション　上場取引所　東
コード番号　8229　ＵＲＬ　http://www.cfs-corp.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）石田　岳彦
問合せ先責任者　（役職名）管理本部長　（氏名）上田　晃一　ＴＥＬ　045（476）7474
四半期報告書提出予定日　平成24年12月28日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年２月期第３四半期の業績（平成24年２月21日～平成24年11月20日）

（１）経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年２月期第３四半期	81,401	3.8	233	△78.8	665	△49.4	301	－
24年２月期第３四半期	78,385	－	1,100	－	1,314	－	△371	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年２月期第３四半期	8.69	8.68
24年２月期第３四半期	△10.72	－

（注）１　潜在株式調整後１株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在しておりますが24年２月期第３四半期は１株当たり四半期純損失を計上しているため記載しておりません。
２　23年２月期第３四半期は連結財務諸表を作成し財務諸表を作成していないため、24年２月期第３四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年２月期第３四半期	46,726	21,150	45.2	609.78
24年２月期	43,304	21,052	48.6	607.02

（参考）自己資本　25年２月期第３四半期　21,137百万円　24年２月期　21,041百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年２月期	－	4.00	－	4.00	8.00
25年２月期	－	4.00	－		
25年２月期（予想）				4.00	8.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年２月期の業績予想（平成24年２月21日～平成25年２月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	－	1,200	－	1,400	－	500	－	14.42

（注）１　直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無
２　平成25年２月期は12カ月と８日の変則決算となるため、通期の対前期増減率は記載しておりません。

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年２月期３Ｑ	34,684,678株	24年２月期	34,684,678株
②　期末自己株式数	25年２月期３Ｑ	20,810株	24年２月期	20,767株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年２月期３Ｑ	34,663,887株	24年２月期３Ｑ	34,663,356株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続を実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）２ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 2
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 2
（３）追加情報 …… 2
３．四半期財務諸表 …… 3
（１）四半期貸借対照表 …… 3
（２）四半期損益計算書 …… 5
第３四半期累計期間 …… 5
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 6
（４）セグメント情報等 …… 6
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 6

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間におけるドラッグストア業界は、消費行動の抑制傾向に、企業間競争の激化や春先の季節品の需要低迷等も重なり、総じて厳しい状況となりました。

このようななかで、当社は既存エリアの収益力強化を目指して、調剤併設化の推進、営業時間の延長、食品ゾーンの強化をはじめ、カムズクラブカードと電子マネー「ＷＡＯＮ」の一体型カードの発行、お客さまの利便性向上に向けた「ＨＡＣらくらく便」、「ハックドラッグイキイキ倶楽部」等の取組を進めました。また、成長へ向けた新規出店、改装に引き続き注力するとともに、１１月には横浜の都筑・港北エリアにおける在宅調剤及び調剤薬局の承継を受ける等、在宅調剤事業の拠点整備を加速させてまいりました。

当第３四半期は既存店の売上高前年比が好転し順調に推移しておりますが、当第３四半期累計期間における売上高は、特に取組を強化している調剤部門の売上高が前年同期比１４．０％増と引続き順調に推移したものの、春先の花粉飛散量の減少による季節品の需要低迷等の影響から、前年同期に比し３．８％の伸びにとどまりました。売上総利益額は前年同期に比し２．３％の増加となりましたが、販売費及び一般管理費は、成長戦略を加速するために取り組んでいる新規出店や積極的な改装に伴う一時的な経費負担、成長戦略を支える専門人財の採用等により前年同期に比し大幅な増加を余儀なくされました。

店舗につきましては、第２四半期までの出店に加え、新たに既存のエリアでは「シァル鶴見店」（横浜市鶴見区）、「中土狩店」（静岡県駿東郡長泉町）他を、中部エリア（東海３県）では、「高坂店」（名古屋市天白区）、「刈谷店」（愛知県刈谷市）他をそれぞれ出店しました。これらにより、店舗数は新規出店が２２店舗、閉店が２店舗となり、当第３四半期末の店舗数は３０１店舗、うち調剤取扱店舗は１０８店舗となりました。また、業務提携先の薬樹株式会社とのコラボレーションによる次世代型店舗「ハックベリー美しが丘店」を７月に既存店の改装によりオープンさせるとともに、９月には「ハックドラッグ健康と美の祭典ｉｎかながわ」を開催し、地域コミュニティの発信基地としてのドラッグストアの役割を提案し、多くのお客さまのご来場をいただきました。

これらの結果、当第３四半期累計期間の売上高は８１４億１百万円（前年同期比3.8%増）となりましたが、営業利益は２億３３百万円（同78.8%減）、経常利益は６億６５百万円（同49.4%減）にとどまりました。また、四半期純利益は３億１百万円（前年同期は３億７１百万円の四半期純損失）となり、前年同期に比して、特別損失に計上した資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額等がなくなったことから大幅な改善となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第３四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比較して３４億２２百万円増加し、４６７億２６百万円となりました。これは、店舗数の増加等により「商品」が１５億９６百万円、「有形固定資産」が１２億１０百万円増加したこと等によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ３３億２４百万円増加し、２５５億７５百万円となりました。これは、法人税等の支払いにより「未払法人税等」が８億９５百万円減少したものの、「買掛金」が１９億８０百万円、長期借入金が９億４０百万円、「短期借入金」が７億円増加したこと等によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ９７百万円増加し、２１１億５０百万円となりました。これは「利益剰余金」および「その他有価証券評価差額金」等によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は総資産の増加もあり、前事業年度末から３．４ポイント低下し４５．２％となりました。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成24年９月27日付にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（３）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成24年２月20日）	当第３四半期会計期間 （平成24年11月20日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,244	2,258
売掛金	2,609	2,423
商品	11,681	13,278
その他	4,073	4,445
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	20,608	22,404
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,755	13,746
減価償却累計額	△7,893	△8,378
建物（純額）	4,862	5,367
土地	3,531	3,456
その他	6,791	7,858
減価償却累計額	△4,385	△4,671
その他（純額）	2,406	3,186
有形固定資産合計	10,800	12,010
無形固定資産	674	762
投資その他の資産		
差入保証金	9,284	9,436
その他	2,062	2,236
貸倒引当金	△125	△125
投資その他の資産合計	11,221	11,548
固定資産合計	22,696	24,321
資産合計	43,304	46,726
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,486	11,467
短期借入金	1,000	1,700
1年内返済予定の長期借入金	2,260	1,232
未払法人税等	895	－
賞与引当金	456	717
ポイント引当金	1,127	1,261
その他	2,877	3,057
流動負債合計	18,104	19,436
固定負債		
長期借入金	1,100	3,068
資産除去債務	886	946
その他	2,160	2,124
固定負債合計	4,147	6,139
負債合計	22,251	25,575

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成24年２月20日）	当第３四半期会計期間 （平成24年11月20日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,092	7,092
資本剰余金	6,377	6,377
利益剰余金	7,671	7,694
自己株式	△13	△13
株主資本合計	21,127	21,151
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△85	△13
評価・換算差額等合計	△85	△13
新株予約権	11	13
純資産合計	21,052	21,150
負債純資産合計	43,304	46,726

（２）四半期損益計算書
（第３四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成23年２月21日 至　平成23年11月20日）	当第３四半期累計期間 （自　平成24年２月21日 至　平成24年11月20日）
売上高	78,385	81,401
売上原価	55,362	57,854
売上総利益	23,022	23,547
販売費及び一般管理費	21,922	23,314
営業利益	1,100	233
営業外収益		
受取利息	26	27
受取配当金	137	326
固定資産受贈益	42	88
その他	70	74
営業外収益合計	277	517
営業外費用		
支払利息	39	40
その他	23	44
営業外費用合計	63	85
経常利益	1,314	665
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	7	－
特別利益合計	7	－
特別損失		
減損損失	14	116
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	569	－
退職給付制度終了損	337	－
その他	463	13
特別損失合計	1,384	129
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△62	535
法人税、住民税及び事業税	481	325
法人税等調整額	△172	△90
法人税等合計	309	234
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△371	301

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。